

創業支援室を拠点に 海外と日本の不動産をつなぐ



POINT

充実の環境が
創業を後押しして
くれました。



NoMad不動産 株式会社

代表取締役
齊藤 嘉一 Saito Kaichi

〒010-8572 秋田市山王3丁目1-1
秋田県庁第二庁舎
3F 創業支援室A-1
TEL.018-800-9583
<https://nomadrealty.co.jp>
YouTubeチャンネルはこちら▶



海外での経験を生かして

「NoMad不動産」は、今年1月に創業した、不動産の売買仲介、賃貸斡旋、不動産鑑定業務、コンサルティング業務などを行う企業だ。同社の大きな特徴が、海外不動産の取り扱いが可能なこと。代表の齊藤嘉一氏がこれまで、カナダ、アメリカなどで不動産業に従事してきた経験を生かし、海外の物件を日本の企業に紹介したり、秋田の物件を外国籍の方に紹介する事業を柱としている。

同社が事業所を置くのが、県庁第二庁舎内にある「創業支援室」。これは、新たな事業者の取り組みを支援するために設置しているもので、創業5年未満の企業が入居できる。

「業務には、秋田市や秋田県からの査定依頼もあるため好立地。先日開催された起業家交流フェスタへの参加のお声かけをいただくなど、入居していることで横の繋がりが作りやすくなるのも魅力です」と、齊藤氏。事務所環境はオンラインが主となる海外顧客とのやりとりもしやすく、何より、使用料が安価に抑えられることも創業の後押しとなったという。

秋田の不動産の可能性

「秋田はまだまだ外国籍の方との不動産取引のハードルが高く、賃貸物件一つ借りるのにも膨大な労力を費やしている状態。しかしながら、人口減が進み、経済の停滞が懸念される本県では、外国籍の方の流入を促していく必要があると感じています」と、齊藤氏。近年、為替の影響もあり、外国人が日本の物件を購入するケースが増えているなかで、自然豊かで食べ物も美味しく、ゆっくりと過ごせる秋田は、海外の方にとって魅力だという。

創業から約10カ月。実績づくりにはしばらく時間がかかるが「秋田での繋がりが少ない分、まずは“齊藤嘉一”という人間を知ってもらえたら」という思いから、自社YouTubeチャンネルなどを通して、自身のこれまでの経験や、海外の不動産事情など、発信に余念がない。

「海外と秋田の不動産の架け橋」という、未開拓ながらも可能性に溢れる事業。今後の活躍が期待される。



海外での不動産業の経験を活かし、国内企業に物件を紹介している。



不動産セミナーを開催し、物件説明やマーケット市況などの解説も行っている。



難関といわれる不動産鑑定士の資格を取得。コンサルティングにも力を入れている。

▶活用事例 創業支援室の提供 創業・起業相談

創業者や新事業分野進出を目指す企業に事務スペース(創業支援室)を提供するとともに、入居者が抱える様々な課題の解決をサポートします。

【お問い合わせ】 総合相談課 TEL.018-860-5610